



千葉労働動員

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話(鉄電)千葉 2935・2936 番
(公)千葉 (22) 7207 番

90.1.24 No. 3150

1.18ストの偉大なる成果をひきつぎ 2~3月大決戦へいざ!

われわれは、ありとあらゆる手段を尽くした、JR当局⇨JR総連革マルによるスト封殺攻撃をはね返して、一八スト

清算事業団闘争勝利に向けて勝利の展望ひろく

一、一八ストライキは、何よりも清算事業団闘争勝利へ向けた本格的な反撃の開始を告げる闘いであった。われわれは、JR本隊から不転の決意で総決起することによって、切迫する清算事業団労働者への新たな大量首切り攻撃の現実、分割・民営化攻撃の開始以来現在まで続く、国家的不当労働行為の実態を全面的に暴き出し、アピールした。われわれは、一、一八スト決起によって、

JR当局⇨JR総連革マル体制に痛打!

また、一、一八ストライキは、昨年一二、五ストライキを引き継いで、JR総連・革マルと手を組んだ、JRの異常きわまりない強権的労務支配体制を痛撃した。

そして、降ってわいたように手に入れた自らのポストを守るための、自己保身で手を結び続けた革マルとの二人三脚、同床異夢が、今や怒りと怨念、矛盾の集中点になっていく。われわれの一、一八ストライキは、危機にたつJR当局⇨JR総連革マル体制を確実に激しく、より深く揺がしているのである。

国労との共闘体制確立へ向けて

2~3月決戦の展望ひろく

さらに今次闘争は、国労との真の共闘体制確立に向けて大きな展望を切りひらいた。

一、一八ストライキは、東京及び千葉をストライキの対象から除外するという国労指導部の戦術設定の誤りに対し、国労千葉運転区分会・津田沼運転区分会を中心に、ストの拠点指定を求めると

の取り組みを生みだし、この間働労千葉との共闘を頑なに拒み、結果として、組合員をスト破りにかりたて、しかも自らの

れず、自らの力を信じて不屈に闘うこそが労働者の心をとりえるのである。

期は熟した

いよいよ

決戦へ!

組合員を欺くような対応に終始する国労千葉地本指導部の誤りを厳しく追及した。現場から働労千葉⇨国労の共闘体制確立に向けた切実な願いが噴出したのである。

いよいよ期は熟し、決戦のときは来た!二一三月、われわれは、全ての力を投入して、清算事業団一二名の仲間たちを奪い返すために、あらゆる手段を尽くして闘いぬく決意である。全ての組合員の皆さん!まなじりを決して闘いに起とう!

1.18スト総括 働労千葉労働学校

※1回講座 とき 1月27日13時
ところ 労働者福祉センター



『90年代の労働運動の課題と展望』